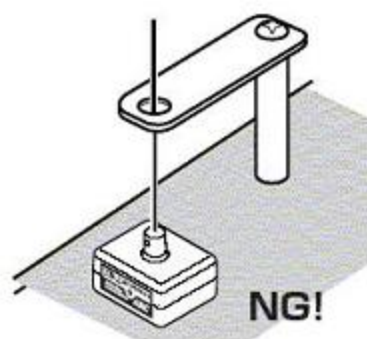
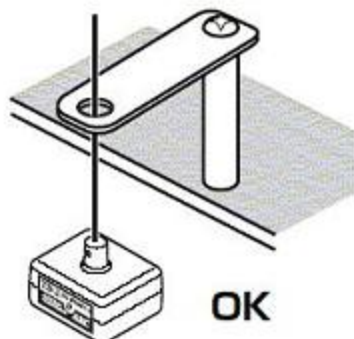


TD-2 の使用方法

搭載

ボンダーステーを使用



車体側に、ボンダーステーと呼ばれる、専用取り付け位置があれば、そこに取り付けます。ただし、上の図のようにシャーシの下から見える位置に取り付けてください。右の場合、シャーシにさえぎられています。※右のNGの例の場合、絶対にカウントできない訳ではありませんが、カウント値 (Hit の数字) が安定しない場合があります。

シャーシに直接取り付ける。



シャーシに直接取り付ける場合には、右の例のように、密着させて取り付けると、電波がシャーシの影響を受けてうまく下にあるアンテナに届きません。この場合は、厚手の両面テープを2~3枚重ねて取り付けるようにします。

取り付けを避ける場所

受信機及び、受信機のアンテナの近くは避けるようにします。微弱ながらもTD-2 (TD-1) は電波を発射していますので、接続コードの長さの制約内で離すようにしてください。

TD-2 が 動 作 し ない

電源を入れても、TD-2 のランプが点灯しない場合には、接続などを確認します。接続が正しい場合には、TD-2 (TD-1) が故障していることも考えられます。故障の疑いのあるTD-2 (TD-1) は使用しないでください。逆電圧接続などで故障している場合、内部でショートしているために、新たに接続した機器側を壊してしまう場合が予想されます。

消耗品

エントリーチップは、振動や、ショックに対して弱く、破損することがあります。また接続コードも使用しているうちに断線や接触不良が発生することがあります。使用頻度にもよりますが、使用前後に確認を行ってください。